

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保 文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



祝 谷口雅春先生ご生誕130年 尊師への報恩感謝の思いを新たに人類光明化運動に邁進しよう!!

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

愛念を送れば周囲が一変する

愛は、ただの「好きだ」と云う嗜好の感情ではない。それは相手を祝福する意志と努力です。「あの人が幸福になりましように」と云う愛念を送る努力の中に本当の愛があるのです。事毎に、物事に感謝するのです。「有りがとうございませ」と感謝の念を送るとき、それが愛念の放送になるのです。あなたの身边にあるどんな小さな物品にでも、どんな事柄にでも感謝の念を送るのです。これは実行して見ない人には、それがどんなに力強いものであるかがわからない。

しかし実行して見て、その偉大なる効果に驚くでしょう。周囲の事物が輝き出して後光を放つかのように見え出すのです。今まで自分に悪意をもっていた人が好意を持ち出すに到るのです。まことに愛念と感謝とは魔術使の杖のような、

不思議な働きを發揮するものです。



(新装新版『真理』第2巻206頁)

尊師の深い御愛念に感謝を捧げて

副理事長 岡村 佳明

今年、十一月二十二日は尊師谷口雅春先生の御生誕百三十年の佳き日です。先生は長年の求道の末、成道に至られた日のことを『生命の實相』自伝篇の中で、「或る日、私は静座合掌瞑目して真理の啓示を受けるべく念じていた。(中略)私はついに神を見出し、本当の自分を見出したのであった。三界は唯心の所現である、その心をも、また現ずるところの現象をも、一切空無と裁ち切つて、その空無を縦に貫く久遠不滅の大生命が自分であった。」とお説き下さっています。まさに、先生が私たちにお教え下さった神想観こそが、この先生の尊いお悟りを追体験させて頂くことができる唯一の行であるとお察されるご文章です。

このように祈りには現実を変える凄力が秘められていることが分かりますが、それ以上に根本的に大切なのは、祈り(神想観)を通じて初めて「人間神の子」の深い自覚が得られることです。谷口雅春先生は『生命の實相』観行篇はしがきにおいて、「あたかも潜水夫が海の底ふかく沈んで貴い真珠を採取して帰るように、深く人間の「実相」に沈潜して、人間の貴い内部にある「実相」―すなわち本来円満完全にして無限知・無限愛・無限力量なるものを現実はまだ獲得してこなければならぬ(中略)。その静的工夫こそが本篇において説かれている観行(引用者注…神想観)である。」とお説き下さっています。

さて、先年亡くなられた遺伝子研究の世界的権威である筑波大学名誉教授村上和雄先生と宗教学者の棚次正和京都府立医科大学教授(当時)との共著『人は何のために「祈る」のか』(祥伝社)の中で、祈りはヒトの好ましい遺伝子をオンにし、好ましくない遺伝子をオフにする効果があると書かれています。

その実例として、悪性の脳腫瘍に罹った十八歳の青年の次のような例を挙げています。彼の脳腫瘍は若いだけに進行が早く、西洋医学の最先端の治療を施したものの、全然効果が見られませんでした。幸いだったのは青年の父親が高名な医師だったことです。青年の父親は、従来型の

治療に効果がないと見るや、直ちに同僚医師らに参加を呼びかけて、息子のための「ヒーリング集会」(祈りの集い)を催しました。この集会には六十人の現役医師が参加し、青年の治療を願って皆で真剣に祈りを捧げました。すると、なんと十日後、さしもの脳腫瘍が消えてしまったのです。

尊師ご生誕百三十年を迎える今月、御自らの血の滲むような求道と思索の結果、辿り着かれた尊いお悟りを、万人に分かりやすく誰もが行じて休得できるようにお教え下さった深いご愛念に感謝を捧げつつ、ますます祈りを深めてまいりたいと思います。

1 ただ優しき言葉のみを語れ。烈しき語調の言葉は深切より出ずる場合にも、憎悪をもって語らるる言葉なりと誤解せられることあり。心のうちにて、言葉に現わしても、行ないにあらわしても、人を傷つけてはならない。(『生命の實相』頭注版第38巻 幸福篇)

第6回 谷口雅春先生報恩 全国練成会

— 岩手、愛知、岡山、福岡、宮崎など全国から105名が参加 !!

かつてのような「ホンモノの練成会を受けたい」「神癒と奇蹟溢れる練成会を受けたい」との心ある信徒の方々からの願いに応え、平成31年1月に始まった「谷口雅春先生報恩全国練成会」。コロナ禍により休会を余儀なくされていましたが、去る9月16日から18日まで3年8カ月ぶりに開催。同封の「練成会報告新聞」にもあるとおり、谷口雅春先生のみ愛につつまれた温かい練成会となりました。



体験談を発表する通善好昭さん

癌が転移した状態では、骨をつなげる手術もできずブラブラのまま過ごすしかないと言われました。寝返りも打てず、茶碗も持てず、布団から身体を起すことも一人でできなくなり、生活のほとんどに妻の介護が必要となりました。

それでも片手で神聖観をし、譜面台に聖経を置いて聖経読

行の実践と周囲への感謝で 癌が消える！ よろこびの体験談

石川県 通善好昭 (72歳)

私は平成29年3月に腎臓癌が見つかり摘出手術を受けましたが、平成30年11月に肺への転移が見つかりました。ステージ4という深刻な事態の中、「谷口雅春先生報恩全国練成会」のを知り、妻と二人で参加しました。安東巖先生はじめ諸先生方のご講話を聞かせていただき、「現象は心の影である」との言葉に、最初は「そんなものなのかな」程度に思っていました。受講しているうちに心がすっきりしていき、神様が信じられるようになりました。

練成会後は、妻と二人で神聖観や聖経読誦に励み、不安を払拭して神様とのつながりを強固なものとしていきました。

しばらく元気に過ごしていたのですが、五十肩だと思っていた肩の痛みがなかなか良くなりたいため整形外科で見てもらったところ、骨が折れており、詳しく検査すると、肩の横にこぶし大の癌が転移していることがわかりました。

誦を続けるうち、徐々に痛みも和らいできて、好きなギターも持てるようになりました。

そして、7カ月ほどした頃、腕の折れたところが曲がるようになり、レントゲンを撮ったところ、肩に転移していた癌が消えており、肩の手術が出来るようになりました。長い手術でしたが大成功し、無事、骨がつながりました。それからしばらくして、肺に転移していた癌も消えたのです。

闘病中、妻や子供や沢山の仲間が私を気遣い、励ましてくれました。手術の時には、神癒祈願をはじめ沢山の方に祈っていただきました。私はこの度のことを通して人の真心に気づき、感謝することの大切さを心の底から学ぶとともに、神様に繋がっているとの安心感が一番だと実感しました。

昨年12月には、千葉で開催された「生長の家教義実践講座」に参加して講師の認定を受け、今年の3月に講師デビューを果たしました。これからも信仰を深めながら、周りの人の役に立つ人生を歩んで参りたいと思えます。

参加者感想文より

光明生活を実践します

神奈川県 村上容子 (64歳)

初めて練成会に参加させていただき、今が心の中がとても温かくなり、愛に満たされた思いでいっぱいです。

先祖供養では、私という存在を生み出してくれた両親や御先祖様があって今の自分があることへの感謝を改めて感じる事ができました。

浄心行では、今までの暗黒な心の中の思いを紙に書いて実際に燃やすことによって、「無くなる」ことを実感し、きれいな心になって

門出するという生き直しができました。

早朝行事での『真理の吟唱』などの朗読により、毎朝が「日々新たななり」との出発点であることを確認できました。

私は笑顔が少なく、いつも気むずかしい顔をしていると夫から指摘されていましたが、練成会に参加されている仲間からも「笑え、笑え」と言われ、人はよく見ているなあと思いい、眉間にシワをよせる習慣から脱却しようと思えます。

これまで、聖典を拝読して谷口雅春先生の宗教思想に深い感銘を受けてきましたが、真理を体得するには、実践生活が大切であることをこの練成会で痛感しました。今回いただいた『光明生活』のカードを家の壁や鏡、冷蔵庫に貼り、いつも心に留めて、『光明生活』を実践していきます。

今を生きたら過去も変わる

広島県 柏野昭子 (75歳)

全国練成会のチラシを見て、素晴らしいな、行きたいなと思いましたが、体力に自信がなく、ギリギリに参加を決心しました。久しぶりに明るい練成会を受けることができ、本当に嬉しく幸せです。

練成会には、父母や弟に感謝したいという気持ちで来ました。今に感謝して、今を生きながら過去も変わると教えて下さり、今までついでに来た過去を捨てる決心ができました。私は神の子・光の子であるという事をもっとじっくり感謝し、自分を讃嘆します。「50」の自分の良さをまず書くことを実践します。

神聖観も神様との対話の時間として楽しく実修し、ますます悦びあふれる私となって伝道します。そして、潜在的に持っていた恐怖心も克服して実相だけを見つめて生きる努力をします。

感謝の力で大きく飛躍します

神奈川県 小島 量 (33歳)

練成会に参加する前は、何となく心のモヤモヤが晴れて、良いエネルギーをもらえれば良いな、くらいに考えておりました。しかし、いざ参加してみると、考えていた以上に、10倍も20倍も心が浄まっていることに気がつきました。

先祖供養では、私がいかに恵まれているか、それは御先祖様の徳のお陰であることに気づき、感謝と供養の気持ちに満たされました。

祈り合いの神想観では、自分の仕事が全ての人々に良いものとなるよう祈っていたとき不安が消えました。神様に全托して前向きに頑張らせていただきます。私はこれまで家族には、「ありがとう」と沢山言ってきた自負がありますが、職場ではそれを実践していませんでした。この練成会を機に、職場でも「ありがとう」を実践し、感謝の力で一層大きく飛躍していきたいと思えます。



ゲスト講師を囲んで「よろこびの班別座談会」



名残がつかない閉会式「誓いの握手」

※同封の「練成会報告新聞」もご覧ください。

次回は新春令和6年
2月2日(金)〜4日(日)



感謝と悦びの心で先祖供養に励みましよう!!

ご先祖様からの大切なメッセージ

谷口雅春先生は、ご著書『新版人生を支配する先祖供養』17ページにおいて、次のように私達に教えて頂いています。



「諸君は祖先の霊の祭祀のことを思い浮かべることがあったり、気にかかったりするならば、それは祖先(亡き父母を含む)自身身祭して貰いたい意識があなたの意識の中に織込まれているからなのである。だから、そういう考えが起って来たときにはお仏壇のない家庭ならお仏壇を買って来て祀ってあげるがよい。」

この先生のお言葉の中に、先祖供養を行なう、大切なきっかけがあると思えます。

未だ先祖供養をしておられない方も、何かの機会にふと、亡き父母を含む先祖のことを思い浮かべたり気にかかったりするならば、それは先祖が、私達に供養してもらいたいという意識が私達の意識の中に織込まれているからだ教えておられます。

これからは「意識」を「念(思い)」と表現していきますが、私達の亡き父母、ご先祖が供養してもらいたいという「念(思い)」が私達の「念」に送られて来ているということなのです。

亡き父母や先祖のことが

思い浮かんだときは

すぐに先祖供養を行いましよう

私達の日常生活でもよく体験することですが、自分の両親や子供に会いたい、顔を見たいと思う時には私達の念が送られて、田舎にいる両親や、都会で働いている子供達も同じことを考えていることが多いのです。

とにかく、亡き父母や先祖のことが思い浮かんだ

り気になったりされたならば、すぐに先祖供養を行って下さい。

先祖供養の意義と行い方の基本は、谷口雅春先生の『新版人生を支配する先祖供養』で全て述べておられますので、このご著書を読んでいただければよいのですが、これから何回かの「先祖供養について」の掲載をきっかけに、生長の家の教えを深く学んでいただければありがたいと思えます。

先祖供養は

正しく悦びをもって行ないましよう

さて、このご著書は生長の家の『生命の真相』に基づいた先祖供養です。これから初めて先祖供養をなさろうという方は勿論、20年も30年もやり続けてこられた方も、再び教えの根本に基づいた先祖供養を学び行うことによつて、先祖供養への新たな悦びが湧いて来るでしょう。

このご著書の冒頭に「人生を支配する」と記されていますが、この先祖供養を正しく、悦びをもって行なう時、私達の人生における苦難は見事に乗り越えられ、思い通りに人生を支配することが出来ると教えられているのです。

さあ皆様、これから悦びの先祖供養を日々実修していくことにより、素晴らしい人生を送ってまいります。 (熊本司)



一柱一柱丁寧に招霊供養が行われる (谷口雅春先生報恩全国練成会における「先祖供養祭」)

物故者 顕彰慰霊 先祖供養祭の日程

11月25日(土)、12月24日(日) 午前11時より

※11月は第四土曜日に執り行います。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

五つの事業を支える奉讀者600名御芳名

これまでご献資下さった方々の御芳名を謹んで掲載し、深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り伝えるために！！

1口 33万円の特別献資に

ご協力ください！！（分割も可）

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から78年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団」の設立を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

（同封のご寄付の申込用紙をご参照ください）

「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

◇ 神示祭（11時～）

11月4日、10日、25日、27日、12月5日、28日

図書資料館屋上、龍宮住吉本宮社殿にて

◇ 『真理』勉強会

11月4日（土）

第1土曜日13時半～15時半

指導：熊本司講師（元本部講師）

対本：新装新版『真理』第1巻



◇ 『生命の實相』輪読会

11月22日（水）、12月22日（金）（毎月22日13時半～15時半）

指導：久保文剛講師（元本部講師）

新編第15巻（頭注版第8巻）観行篇

◇ 定期一般開館日（原則第1・3木曜日11時～15時）

11月2日・9日、12月7日

◇ 古事記神話紙芝居実践勉強会（新教連、13時半～15時半）

11月5日（日）、12月9日（土）

読者の皆様からの「神癒・聖經供養」祈願よろこびの声

★息子のお嫁さんの安産祈願をお願いしました。妊娠中毒症のため約2カ月早い出産で心配しましたが、1104gの女の子が無事誕生しました。昨日1カ月健診でしたが、順調に育っているとのこと。これも「神癒・聖經供養」祈願でお祈りいただいたお陰と感謝しております。これからの孫の成長が楽しみです。（東京都・女性）

★娘の「極度の貧血、即入院輸血」との診断に、早速「神癒・聖經供養」祈願を申し込みました。申込み直後から、私自身の恐怖心が次第にとれ、心安らかな状態の中、当初、少し動くだけで息も絶え絶えだった娘から、とびつきり明るい声で「治ったよ!!」との電話が入りました。どんな時でも神様のお導き御護りをいただいていることの有り難さに胸がいっぱいです。（静岡県・女性）

感想をお寄せください!!

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想を、FAX又は右のQRコードでお寄せください。
FAX：042-843-0076



11月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1（水）	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
4（土）	生長の家の食事の神示祭 『真理』勉強会（熊本司講師）	11時～ 13時半～	社殿 図書館
10（金）	無病常楽の神示祭	11時～	社殿
18（土） ～19（日）	生長の家教義実践講座	12:15 ～16:10	名古屋
22（水）	谷口雅春先生ご生誕報恩感謝祭 『生命の實相』輪読会	11時～ 13時半～	道場 図書館
25（土）	物故者 顕彰祭 本来生、不滅の神示祭	11時～ 14時～	道場 社殿
27（月）	終戦後の神示祭	11時～	社殿

12月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1（金）	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
5（火）	信仰生活の神示祭	11時～	社殿
22（金）	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
24（日）	物故者 顕彰祭 先祖供養祭	11時～	道場
28（木）	日本の實相顕現の神示祭 君民同治の神示祭	11時～	社殿

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う
「神癒・聖經供養」祈願
問題解決 神癒の体験続々と!

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く
「聖使命奉讃会」(月額一口千円)
にご入会ください。



「繁栄と幸福を招く先祖供養」、「人間神の子」、「感謝は全てを癒す」の三講話を収録！(お申し込みは当法人まで)

安東巖先生、高倉俊治先生の
全国練成会講話筆録集

怒り、憎み、恐怖、嫉妬、利己心、冷酷……等、すべて愛に背く心を残しておいて『生命の實相』を読んで真理を注ぎ込んでみてもなんにもならぬ。せつかく清冽な真理の水が濁るばかりである。（『生命の實相』頭注版第38巻 幸福篇）